

到達点を示す“到”と日本語「マデ」について

周 媛

0. はじめに

- (1) a. 30才まで結婚しない。
b. *我到30岁不结婚。
- (2) a. 昨夜12時まで仕事をしました。
b. *昨天晚上到12点我工作。
- (3) a. 駅まで歩きました。
b. *到车站走。

日本人の中国語学習者、特に初心者が「マデ」を含む文を中国語に訳すとき、(1) b、(2) b、(3) bのような誤文を作ってしまうことがしばしばある。上に挙げられた文の動詞（句）の位置に注目されたい。学習者は日本語の影響で、安易に“到～”を動詞（句）の前に置いてしまう傾向が見られる。なぜ(1) b、(2) b、(3) bが誤文であるか？本稿では中国語の“到～”が動詞（句）の前に置かれる構文に重点を置き、“到～”の文法的意味と特徴を明らかにし、(1) b、(2) b、(3) bが誤文である理由に迫りたい。そして、学習者の“到”の全体図への理解にも役立たせたいと考えている。なお、本稿の研究対象は、“到”の後が場所・時間を表す語¹⁾であるときに限定する。

1. “到～”の基本義及び文中における位置

1.1 《现代汉语八百词》における“到”の記述（部分）

到：〔动〕 ①到达：达到。可带“了、过”。可带表示处所或数量的宾语。

老王到了没有。

到八点再开会。

②往。必带表示处所的宾语。

到历史博物馆参观去。

到我那儿谈吧。

〔趋〕②动+到+名(处所)。表示人或物随动作到达某地。

他一直把我送到村口。

快把伤员抬到安全的地方去。

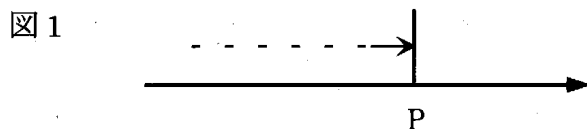
③动+到+名(时间)。表示动作继续到什么时间。

大风刮到下午两点才停止。

找到天亮还没找着李强。

(吕叔湘主编《现代汉语八百词》增订本)

以上の記述から、“到”は基本的には動詞であり、“到～”の基本義が「ある点に到達する」ことであるとわかる。その際、“到～”が現す事象は「点」として捉えられる。“到～”のイメージスキーマ(図1)：

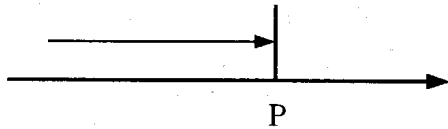


(下部の矢印は時間の経過、または移動の経路を表し、Pは到達点の場所・時間を示す(以下同)。点線の矢印は“到～”のイメージスキーマで、経過している時間、移動しているものがPに到達する意味を表す。“到～”は経過・移動の過程を含まないので、点線の矢印で示した。)

一方、副助詞である「マデ」は「ある動作、状態が継続する時間或いは空間の広がりの上限を表し」(久野1973. 65頁)とされているので、「～マデ」は時間または空間のある範囲を示すものと分かる。「マデ」が現す事象は「点」の連なりの「線」状または「面」状を呈する。「～マデ」のイメージスキーマ(実線の矢印)(図2)：

ここで分かるように“到～”は「～マデ」と基本的には異なる意味特徴を

図2



持っている。しかし、実際の構文の中では述語動詞の性質やほかの付属要素の働きによって、「“到～” + α^2 」が「線」状を呈し、「～マデ」と同じ構文的意味を持つことがある。それはどういう場合なのか、具体的にどういう条件が要求されるかについては第2章で検討したい。

1.2 文中における位置

“到～”は動詞（句）の前に置かれる場合と動詞の後に置かれる場合がある³⁾。本稿では、この二つの構造形式をそれぞれ「到～Vp」(S₁)と「V到～」(S₂)と記し、「到～Vp」に重点をおいて考察を行う。「到～Vp」における“到”は動詞と考え、考察を進めていきたい。また、「場所・時間表現+マデ」を含む構造形式をS_{マデ}と記す。

2. 「到～Vp」(S₁)の特徴及び文法的意味について

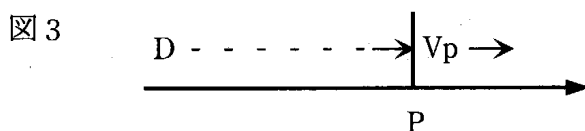
“到”の後に場所がくる場合と時間がくる場合と分けて考察する。

2.1 “到”の後に場所表現がくる場合⁴⁾（以下S_{1場}と記す）

- (4) 前方不远处是钟锐的公司, 晓雪想做一下最后的尝试。“哎, 我说, 到前面停一下。” [牵] (すぐ前は鍾銳の会社である。晓雪は最後にもう一回試してみようと思った。「ねえ、そこの前のところで止まってくれる」)
- (5) 我想起了我们刚好的时候, 她天天冒雨到招待所找我。 [空] (つきあったばかりのころ、彼女が毎日雨の中を招待所に会いに来てくれたことを思い出した。)
- (6) 方向平朝那张光洁的面孔细细看了一眼, 示意她先到墙边的沙发上坐会儿, …… [牵] (方向平はそのなめらかできれいな顔を注意深く見て、彼女にとりあえず壁のほうにあるソファーにしばらく腰掛けているよう促した……)

(7) 我七点必须到家陪妈妈, 晓冰和何涛今晚看演出。[牵] (七時には家に帰って母のお供をしなきゃいけないの。晓冰と何涛は公演を見に行くから)

(4)、(5)、(6)、(7) の下線部は「“到” + 場所 + Vp」の構造であり、「“到” + 場所」と動詞(句)からなる連動式である。連動式は前後のイベントが順次生起することを表し、ここではまず到達して、それから次のイベントが行われると考えられる。S₁場における“到～”は本動詞と同じく、ある場所に到達する意味を表し、時間軸においては点として現れる。移動している動作主(D)が場所Pに到達した後、Vpのイベントを始めるというS₁場のイメージスキーマは図3で示される。“到～”は移動の過程を含まないので、点線の矢印で示す。



連動式の動作は同じ動作主によって行われるものなので、後の動作は前の動作の後に生起するのが当然であり、S₁場は前後関係を表す副詞などの付属要素なしで前、後項動作の順次発生を表すことができる。つまり、S₁場は前、後項動作の順次発生を表すには無標である。

2.2 “到”の後に時間表現がくる場合(以下S₁時と記す)

時間順序の原則に従えば、Vpはある時点の後ろに置かれる以上、その時点より遅く始まるはずである。少なくともその時点より早く始まることはない。ところが、“到”の後に時間表現がくるときには、Vpが動態性であるか状態性であるかによって異なり、時間順序に沿った「ある時になってからあとの動作が起こる」ことを表すもの(以下S₁時_aと記す)と「その時も含めてそれまでの状況」を述べる場合(以下S₁時_bと記す)がある。

I Vpが動態性であるとき、S₁時は「ある時になってからあとの動作が起こる」意味を表すことができる。このとき、文には時間の前後関係を表す“再”、“才”、“就”などがよく用いられる⁵⁾。

(8) 我们先出去转转, 别走远, 到晚上再说。[风] (先に外でぶらぶらして、

到達点を示す“到”と日本語「マデ」について

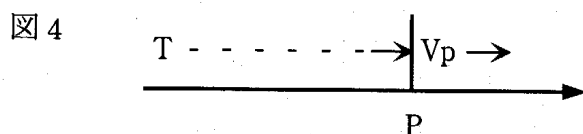
遠くには行かずに、夜にまた話そう)

(9) 王純被敲门声惊醒。她昨晚加班搞一个工作计划，到早晨三点才躺下。

[牵] (王純はノックの音に起こされた。昨夜残業してあるプロジェクトをやっていて、朝3時にやっと横になったのだ)

(10) 晓雪觉着有些理亏，忙解释道：“以前我每次走前都给他洗好，到点他就上床睡觉，都没有过什么事……今天没想到会停电。” [牵] (晓雪はちょっと道理に合わないと思って、あわてて説明した。「いつもは出かける前にちゃんと洗ってあげて、時間になったら自分でベッドに入るから、何も問題はなかったの…今日停電するとは思わなかったの」)

なぜこれらの副詞が用いられるだろうか。それは (8)、(9)、(10) では、“到～” と Vp は同じ動作主による連続的なイベントではなく、Vp の動作主がある時間になってから、「そのあと、～する」という前後の関係を表す複文になっているからである。前項と後項の動作が同じ動作主による連動式ではない以上、前後関係を示すマーカーがなくては前項と後項の動作が順次発生であることを表すとはかぎらない。“再”、“才”、“就”などは時間の前後関係を明示すると同時に、構造機能、つまり受け継ぎを表す接続語の機能も果たし⁶⁾、“到～”が後の動作が生起する一種の前提・条件になる。S₁時_aは“再”、“才”、“就”などの前後関係を示す副詞の働きを借りて、「ある時になってから後の動作が起こる」という前後関係を明らかにするのである。これらの副詞がなければ、複文の前項と後項の条件関係が曖昧になり、文が不自然になる。つまり、S₁時は「ある時になってから後の動作が起こる」意味を表すには有標である。“再”、“才”、“就”などの副詞を伴い、時間 (T) が P に到達した後動作主 (D) による Vp のイベントが始まるという意味を表す S₁時_aのイメージスキーマは図4で示す。



(“到～” はある時点に到達することを表し、時間の経過の過程を含まないの

で、点線の矢印で示す。Tは時間を示す。)

II Vpが状態性であるとき、S₁時は「その時も含めてそれまでの状況」を表すことができる。次の例文で見てみる。

- (11) 我在那个公司蹲了半个月，天天翻发票本，一天十多个小时，一张一张翻，翻了半个月，你想想，刺激吗？到最后也没翻出来。[风]（私はその会社に半月もとどまって、毎日領収書記録をめくってばかりで、毎日十何時間、領収書を一枚一枚めくる生活が半月も続きました。そんな生活面白いと思いますか？結局その一枚は最後まで見つけることができませんでした。）
- (12) 为了行动自由，她们骑车去的，上午到，一直流连到下午，趟水，摸鱼，喂小牛草吃，躺在花岗岩上晒被河水浸湿的衣服和身体，坐在大树的荫凉下面吃零食，忙得没一分钟空儿。直到走，带去的画夹子也没有打开过。[牵]（行動しやすくするため、彼女たちは自転車でいった。午前中について、ずっと午後までいた。水遊びや魚とりをし、また小牛に草をやったり、花崗岩に横になって水に濡れた服や体を乾かしたり、大きな木の陰に座っておやつを食べたりして、休む暇もないほど忙しかった。帰るときまで、持って行った画板も開くことはなかった）
- (13) 这种不加讨论的口气使潘小伟无法还口，他只有冲伍队长怒目而视了。此后直到会开完，潘小伟一言不发。[风]（この議論の余地がないというような口調には潘小偉は言い返すこともできず、伍隊長を睨みつけるほかはなかった。その後、会議が終わるまで、潘小偉は一言も発しなかった。）
- (14) 那天是星期六，我们去的那家医院不大，只有上午工作半天。一直到我上手术台之前，我妈一直握着我的手。[回]（その日は土曜日で、私たちが行った病院はあまり大きくなく、午前中半日だけ受付をしている。手術台にあがる前まで、母はずっと私の手を握っていた）
- (15) 那段录像我们也看过两遍，那张长发披肩留小胡子的脸在人缝里闪了一

到達点を示す“到”と日本語「マデ」について

两秒钟, 我们都没注意, 让伍队长看出来。不过我到现在还觉得是让他给蒙上的, 巧劲儿, 伍队长可是特得意…… [风] (あのビデオは私たちも二回見て、肩まで髪の毛をのぼし、ひげをはやしたあの顔が人の間をちらっとかすめたが、我々は誰も気がつかず、伍隊長にはわかったのだ。でも、私は今でもかれは当てずっぽうでたまたま当てたと思っている。運がよかっただけなんだ。しかし、伍隊長はとても自慢げだった……)

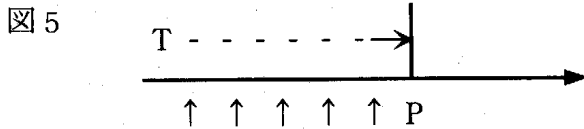
例 (11) ~ (15) においては、後の Vp が「事態の生起」を表すものではなく、ある時点に到達する時の状態・状況・心理活動などを静態的に描写するものである。“到”の前には“(一) 直”を伴うことが多いので、事態への観察はずっと続いていることがわかる。また、後項の Vp は“没 (有)”を使う否定形であったり、“也”、“一直”、“还”、“仍然”などの副詞が用いられたりしている。これらの副詞は S₁ 時_b がある期間内に動作や状態がずっと持続している意味を持つように働きかけている。

具体的には“一直”、“还”、“仍然”などが持続性動詞 (“握 (着)”) や持続できる状態を表す動詞 (“一言不发”)、心理活動を表す動詞 (“觉得”) などを伴って、ある「点」における動作や状態を「線」につなげ、ある期間内に動作や状態がずっと持続している意味を表すことになる。

“没 (有)” を使う否定形は後項の Vp にどのような変化をもたらしたのだろうか。(11) を例に考えてみよう。“翻出来”は瞬間的な結果を表す「動補構造」であるが、“没”で否定することによって、「見つかっていない」は一種の状態としてとらえることができる。また、“也”と共に用いられ、“到最后也没翻出来”とは“翻出来”という事態が過去のある時間内のどの時点でも起こらなかったという意味である。その時間内のすべての点では同じ「見つかっていない」状態を現し、その同じ状態にある無数の点が連なって、「線」状を呈し、最後まで状態がずっと持続していることを表すことができる。

このように、“没 (有)”、“也”、“一直”、“还”、“仍然”などの副詞の働きによって事実上、その時点も含めてそれまでである状態や状況がずっと持続してい

る意味を帯びることになる。言い換えれば、S₁時が「その時も含めてそれまでの状況」を表すときも有標である。副詞などの付属要素を伴う S₁時^bのイメージスキーマは図5で示される：



(S₁時^aと同じく、Tは時間を示し、点線の矢印は“到～”のイメージスキーマで、ある時点に到達することを表す。↑は状態を表す V_pを示し、Pまでの各時点におき、V_pが観察される。)

このとき、図5は一見「(時間) マデ+V_p」と同じ構文的意味を持っているようだが、実は二者には根本的な相違点がある。確かに「～マデ+V_p」も、ある時までの範囲内で動作や状態が持続することを表すが、そのときまでの状況全体について均一に述べるものである。それに対し、S₁時^bはある時点の状況に注目するものであって、副詞などの付属要素の働きによって、はじめてその時点までの状況を含意する。両者の述べる重点は異なる。それゆえ、例(11)、(12)、(13)、(14)のように、ある時点まで持続する状態全体を視野に入れて述べるときのみ「～マデ+V_p」と対応できるが、例(15)のように「今」に重点を置いて述べているときには対応しない。

3. 「V 到～」(S₂)の特徴及び文法的意味について

(16) 方向平把筷子的纸套替晓雪取掉，又掰开筷子，递到晓雪手里。[牵]

(方向平は晓雪の箸の紙袋を取り、さらに箸を割って晓雪の手に渡した)

(17) 他给阿眉带了一纸箱鸭梨，让我给放到行李舱，还笑着让我随便吃。

[空] (彼は阿眉に梨を一箱持ってきて、それを手荷物入れに置くよう私に言って、自由に食べていいよと言ってくれた。)

(18) 晓冰决定代她决定：“姐夫，你先下去拦辆车，让他开到楼门口。[牵]

(晓冰は彼女の代わりに決めてしまおうと思って言った。「お兄さん、

到達点を示す“到”と日本語「マデ」について

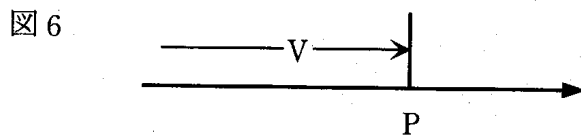
- 先に降りてタクシーを呼んで、建物の入り口まで車を回してもらって」)
- (19) 丁丁要在七点半送到幼儿园,她才能保证八点半赶到单位上班……[牵]
(丁丁を七時半に幼稚園に送りとどけなければ、彼女は八時半に会社に間に合うかどうか分からない…)
- (20) 于观走了,我们四个接着玩,一直玩到天亮。[一](于観は帰ったが、我々四人は続け、夜明けまでずっとやっていた)
- (21) 我们就这样一直聊到很晚,薛宇才起身,对始终坐在门外的我妈表示歉意,向她告辞。[风](私たちはこのままずっと遅くまでおしゃべりをした。その後、薛宇は立ち上がり、ずっと玄関の外に座っていた母にわびを入れ、帰りの挨拶をした。)

“到”がVの後に置かれているため、時間順序の原則に従えば、Vの表す動作や状態の後に「到達」することになる。

“到”の後に場所表現がくる場合、動作を通じて人や物がある場所に到達する意味を表す。例(16)～(19)参照。Vが持続性のある動作を表すものであれば、動作が到着点まで及ぶ意味も含まれる。例(18)、(19)参照。

“到”の後に時間表現がくる場合、動作・行為がある時点まで持続することを表す。例(20)、(21)参照。このときのVは持続性のある動作を表すものである。

例(18)～(21)のように動詞が持続性のある動作を表すとき、S₂はS_{マデ}と同じイメージスキーマをし(図6)、同じ構文的意味を持つことになる。Vの動作・行為がPまで持続するという意味を表す。



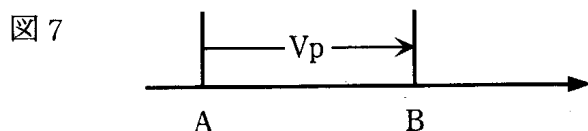
4. 「从A到B+Vp」⁷⁾について

- (22) 从院子的大门口到房间门口铺满了地砖。(木村2001)(表門から建物の玄関までレンガが一面敷いてある)

(23) 我虽然从早上起来到现在水米未沾牙，到此时竟不知饥饿。[风]（朝起きてから今まで飲み食いしていないが、今でも空腹を感じない）

(24) 她试探着：“我记得‘中文天地’的作者……”当得知此钟锐就是彼钟锐时，王纯毫不掩饰她的惊喜，重新从头到脚打量钟锐，像影迷头一次看到从银幕上走下来的影星。[牵]（「確か『中文天地』の作者では…」と彼女は探りを入れてみたら、この鍾鋭がその人であると分かった。すると、王純は喜びを少しも隠さずにあらためて頭から足まで鍾鋭をじろじろながめ、まるで映画ファンがスクリーンを出たスターを初めて見たようだった。）

“从～”はある範囲の起点を示し、“到～”はその終点を示す。起点と着点が明示された“从～到～”は幅のある空間や時間を表す。場所を表す場合、「从 A 到 B+Vp」は「A 地点から B 地点までの範囲で誰かが何かの動作行為を行う、或いは何らかの状況が成立するという意味」（木村 2001. 65 頁）を表す。時間を表す場合、「从 A 到 B+Vp」は A 時点から B 時点までの期間内にある行為・状況が続くことを表す。そのイメージスキーマは以下の図で示す。



このとき、“从 A 到 B”は「A カラ B マデ」と対応している。

以上の分析を表にまとめると次のようになる。

構造形式		構文的意味	Sマデとの対応
S1: 到～ Vp	S1場	前、後項の動作が順次に発生する（無標）	対応しない
	S1時a	ある時になってから後の動作が起こる（有標）	対応しない
	S1時b	ある時点を含めてのそれまでの状況（有標）	一部対応する
S2: V 到～	非持続動詞	動作を通じて人や物がある場所に到達する	ほぼ対応しない
	持続動詞	動作がある場所・時点まで及ぶ	対応する
从 A 到 B+Vp		2 点間の状況	対応する

5. 冒頭の日文中訳はなぜ成立しないか

5.1

(1) a. 30才まで結婚しない。

b. *我到30岁不结婚。

まず、誤文の“*我到30岁不结婚”においては、「到～Vp」の構造形式が用いられている。「到～Vp」は副詞“再”、“才”、“就”と伴って、「ある時点になったら後の動作が起こる」(S_{1時a})、または“没(有)”、“也”、“一直”、“还”、“仍然”などの副詞と伴って、「ある時点を含めてのそれまでの状況」(S_{1時b})を表す構文である。いずれにせよ、副詞の助けが必要である。中国語の訳文自身が成立しないのは、どちらかの意味を示すマーカー(副詞など)が存在しないからである。

また、(1) a の日本語の訳として考えると、「30才まで結婚しない」はある時点になるまでのことなので、S_{1時b}の構文が用いられる可能性がある。しかし、日本語の「30才まで結婚しない」は「30歳までの範囲内のどの時点でも結婚というイベントを行わない」という主観的な意志を表し、時間軸において見ると、連なった線ではなく、点として現れる。それに対して、中国語の S_{1時b} は事態への観察ができるある時点までの静態の状況を述べ、「線」状の事象を表す。(1) a の日本語のように、将来のある時点までのどこかの一点で事態が生起する(しない)意味は表せない。S_{1時b}の構造を使うなら、まず観察できる期間の状態に設定しなければならない。例えば、“到30岁还没结婚”(30歳になったのにまだ結婚していない)や、“一直到30岁都没结婚”(30歳までずっと結婚しなかった)など。「30才までは結婚しない」という日本語は“30岁以前不结婚”、または“30岁以后才结婚”、“30岁以后再结婚”と訳すべきである。

5.2

(2) a. 昨夜12時まで仕事をしました。

b. *昨天晚上到12点我工作。

(3) a. 駅まで歩きました。

b. *到车站走。

(2) b と (3) b の誤文は「V 到～」構造を使うべきところを、「到～Vp」構造にしたケースである。時間順序の原則に従うことによって、後に置かれた動作はある点に到達した後に始まる意味が強くなる。日本語の意味は動作がある時点・地点まで持続することなので、「V 到～」構造を用いなければならない。正しくは“昨天晚上我工作到12点”、“走到车站”である。

6. おわりに

本稿は中国語の“到～”を含む「到～Vp」構造と「V 到～」構造の文法的意味と特徴を考察し、日本語の「～マデ」との相違点を明らかにしたものである。“到～”は基本的にはある点に到達する意味を表し、その事象が点としてとらえる。「～マデ」は幅のある空間や時間を表し、その事象が線または面としてとらえられる。そのため、多くの場合は中国語の“到～”は日本語の「～マデ」とは無縁であるが、“到～”が持続動詞の後に置かれるとき、または“从A到B”の形で用いられるときは「～マデ」とほぼ一致する。また、「到～Vp」においては、副詞“没(有)”、“也”、“一直”、“还”、“仍然”などの働きを借りて、ある時点までの「線」状を呈する状態を表すことができる。このとき、ある時点まで持続する状態全体を視野に入れて述べるのであれば、「～マデ+Vp」と対応する。

注

- 1) ここでいう場所・時間を表す語とは場所語・時間語に限らず、事実上場所や時間の意味を表す表現も含む。
- 2) α は動詞との位置関係や副詞などの付属要素といった条件を示すものである。
- 3) 《现代汉语八百词》の記述でも分かるように、本動詞の“到”が述語とし

到達点を示す“到”と日本語「マデ」について

て用いられることは当然あるが、「マデ」との直接の関係が薄いので、ここでは特に言及しない。

- 4) “到～来/去”は除く。“到～来/去”における“来/去”は本稿では本動詞ではなく、「話し手に近づく」か「話し手から遠ざかる」という移動の方向を示す働きをされると考えられる。荒川 2003 (98 頁－ 99 頁) を参考されたい。
- 5) “到时候～”の場合は副詞などが現れないときもあるが、例えば，“到时候你来吧。一块过。”[牽]“到时候我去送你。”[牽]“到时候”は固定した一つの言葉と考えるので，“到时候～”は複文ではない。
- 6) 张谊生 2000 では、“在现代汉语中，有一些副词，比如‘就、才、也、再、还、更’等，在表示时间、重复、类同、程度等意义之外，还可以起连接小句和句子的作用，充当关联副词。”と指摘している。
- 7) 李勉东 1995 「现代汉语中的“从…到…”结构」では“从…到…”を用いる構文は 3 つの形式だと指摘されている。①他从农村来到城市。②他从农村到了城市。③从农村到城市都出现了新现象。①と②の“从农村”は状語であり、外しても文は成立する。①は本稿の S₂ 類に入り、②は本動詞の用法である。ここで扱う“从…到…”構造は③のような固定形式“从…到…”のことである。

〈参考文献〉

- 荒川清秀 2003 『一步すすんだ中国語文法』 大修館書店
雷 桂林 2003 「“从 A 到 B VP” 構文再考」『中国語学』 250
齐沪扬等 2002 《现代汉语虚词研究综述》 安徽教育出版社
马 贝 加 2002 《近代汉语介词》 中华书局
木村英樹 2001 「“从”から“到”までの文法」『中国語』 九月号 内山書店
李 宗江 2000 〈汉语“才”类副词共同的语法化方向〉《面临新世纪挑战的现代汉语语法研究》
张 谊 生 2000 《现代汉语副词研究》 学林出版社
河上誓作 1996 『認知言語学の基礎』 研究社出版
刘月华他 1996 『現代中国語文法総覧』 くろしお出版

- 山梨正明 1995 『認知文法論』 ひつじ書房
李 勉东 1995 〈现代汉语中的“从…到…”结构〉 『東北大学言語学論集』
第4号
李 芳杰 1983 〈说“从……到……”〉 《武汉大学学报》
久野 暲 1973 『日本文法研究』 大修館書店

〈用例出典〉

- [牵]：王海鸰《牵手》人民文学出版社 1999
[空]：王朔《空中小姐》《王朔文集》1 华艺出版社 1992
[一]：王朔《一点正经没有》《王朔文集》2 华艺出版社 1992
[风]：海岩《一场风花雪月的事》群众出版社 1999
[回]：安顿《回家》新世界出版社 1998
[文]：邢福义《文化语言学》（修订本）湖北教育出版社 2000

(しゅう えん・お茶の水女子大学大学院博士後期課程)